



MacBook Pro 15インチ Unibody Mid 2012 バッテリーの交換

MacBook Pro 15インチ Unibody Mid 2012 バッテリーの交換ガイド

作成者: Andrew Optimus Goldheart



はじめに

このガイドを使って、消耗したバッテリーを交換します。バッテリーが膨張している場合は、[適切な方法で処理してください](#)。



ツール:

- プラススクリュードライバー(#00) (1)
- スパッジャー (1)
- トライポイントネジ Y0 ドライバー (1)



部品:

- MacBook Pro 15" Unibody (Early 2011 Late 2011 Mid 2012) Replacement Battery (1)

手順 1 — 底ケース



- 底ケースを固定している以下の10本のネジを外します。

- 13.5 (14.1) mm プラスネジ—3本

- 3 mm プラスネジ—7本

- ☑ このネジを外すときには、ネジが少し斜めに装着されていることに注意してください。再インストールの際は、同じように取り付けてください。

手順 2



- 両手を使用して排気口の近くから底ケースを持ち上げて、上部ケースに固定している2本のクリップを外します。
- 底ケースを取り外して脇に置きます。

手順 3 — バッテリーコネクタ

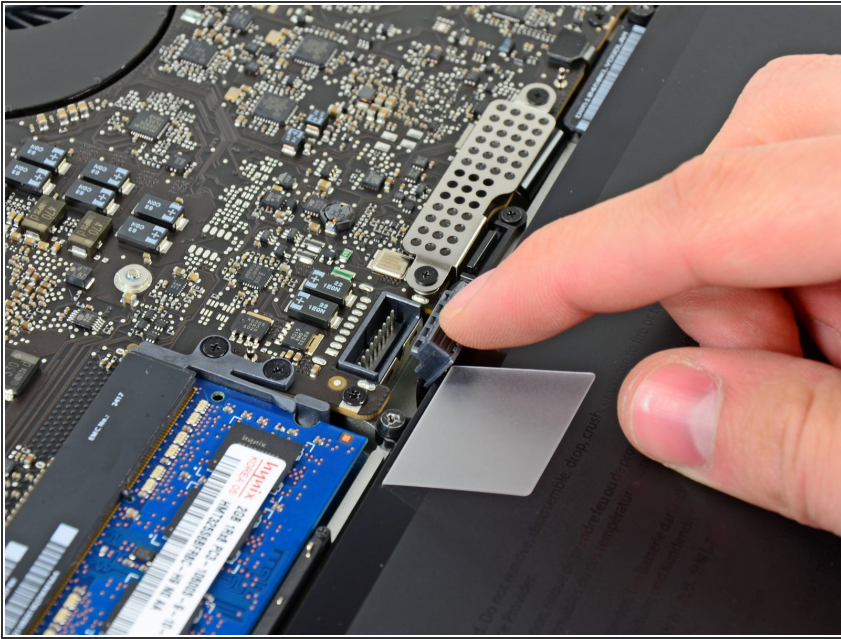


✎ ※特定の修理（ハードディスクドライブなど）の場合はバッテリーを取り外す必要はありませんが、マザーボード上で誤ってショートさせてしまうのを防ぐ事が出来るので推奨されます。バッテリーを外さない場合は、マザーボード上の部品が帯電している可能性があるので注意してください。

- ナイロンスパッジャーの端を使って、バッテリーコネクタをメイン基板上のソケットから持ち上げてください。

i ソケットから接続を外す際、コネクタの縦側の両サイドを上向きに持ち上げると簡単です。

手順 4



- バッテリーケーブルをソケットから離すように少し曲げておき、作業中に誤ってメイン基板に接触しないようにします。

手順 5 — バッテリー



- バッテリー上端の、2本のY1 トライウィングネジを外します。

手順 6



- バッテリー警告ラベルの先端がラウンド状のもの(接着剤が付いていない側)を、バッテリーと光学ドライブの間の上部ケースから慎重に剥がすのと、トライポイントネジが現れます。
- バッテリー上端の、7.4 mm Y1 トライウィングネジを外します。

⚠ バッテリーからラベルを剥がさないようにして下さい。

手順 7



- プラスチックのプルタブを使って、上部ケースからバッテリーを上へスライドさせてずらしします。

★ この修理ガイドを完成したら、新しく装着したバッテリーの[カリブレーション](#)を行なってください。

- 100%になるまで充電します。充電後も最低2時間はプラグを繋げたままにします。それからプラグを外して、通常通り使用しながら、自然に放電させます。バッテリー残量小のサインが表示されたら、これまでの作業を保存して、スリープ状態になるまで放置してください。スリープ状態に入ったら、少なくとも5時間置きます。それから一気に100%まで充電します。
- 新しいバッテリーを装着後、通常通り作動しない場合は、[MacBook ProのSMCをリセット](#)しなければならない可能性があります。

交換用のパーツとオリジナルのパーツを見比べてください。残りのコンポーネントを移植する必要があるか、パーツを取り付ける前に接着剤の裏張りを取る必要があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

新しいバッテリーを装着した後に問題が生じている場合は、[お持ちのMacBook ProのSMCをリセットしてください](#)。

修理が上手く進みませんか？トラブルシュートのヘルプには、[アンサーコミュニティ](#)を参照してください。

2022-09-13 12:21:42 AM (MST)

